

緊急声明

厚生省（現厚生労働省）研究班が推奨した新生児へのビタミン K 予防投与を意図的に実施せず、当該児に頭蓋内出血などの重篤な疾患を発症した事例が過日報道されました。

本学会は、新生児へのビタミン K 投与による頭蓋内出血の予防効果には強い科学的根拠があり、全ての新生児に提供されるべき医療と考えております。また日本小児科学会もこれを強く推奨しています。

本学会は新生児に関わる医師、助産師、看護師がビタミン K 投与の重要性を再確認されるよう強く要望するとともに、行政当局の積極的な指導を要望する次第です。

2010年8月5日

日本周産期・新生児医学会
理事長 田村正徳